

令和4年度 [2022年度]

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

計算書類

令和5年5月31日

学校法人山口学園
くずは青葉幼稚園

独立監査人の監査報告書

令和5年5月27日

学校法人山口学園 理事会 御中

監査法人M & G

業務執行社員 公認会計士 富永 真之
業務執行社員 公認会計士 富永 久恵

監査意見

当監査法人は、私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づく監査報告を行うため、平成28年6月3日付大阪府教育庁公告第1号に基づき、学校法人山口学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書（人件費支出内訳表を含む）、事業活動収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠して学校法人山口学園の令和5年3月31日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態を全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、学校法人から独立しており、また、監査人としてのその倫理上の責任を果たしている。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、平成28年6月3日付け大阪府教育長公告第1号に基づく貸借対照表、収支計算書、その他財務計算に関する書類に含まれる情報のうち、計算書類及びその監査報告書以外の情報である。理事者の責任は、その記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

当監査法人の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事長の責任は、学校法人会計基準（昭46年文部省令第18号）に準拠して計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成し、適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するにあたり、理事者は継続法人の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、継続法人に関する事項を記載する必要があると判断した場合には、当該事項を記載する。

監事の責任は、学校法人の財務報告プロセスの整備及び運用における理事の業務執行の状況を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査法人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正または誤謬により発生する可能性があり、個別にまたは集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正または誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積もりの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 理事者が継続法人を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また入手した監査証拠に基づき継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する注記がなされている場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、または重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、学校法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- 計算書類の表示及び注記事項が、学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類の表示、構成及び内容、並びに計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う

利害関係

学校法人と当監査法人、又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により、記載すべき利害関係はない。

以上

令和4年度 監査報告書

令和5年5月27日

学校法人山口学園
理事会・評議員会 御中

理事長 山口尚志 殿

学校法人山口学園

監事 橋本 恵二

監事 高島 叔孝

監事兩名は、学校法人山口学園監事として、私立学校法第37条及び、学校法人山口学園寄付行為第17条に基づいて、同学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日）における業務及び財産の状況について理事長 山口尚志から幼稚園運営の報告を聴取した。

また、令和4年度における資金収支計算書、事業活動収支計算書、及び貸借対照表の重要書類の閲覧並びに監査法人M & G（富永公認会計士）による監査報告書を確認し、事業報告書を調査した。

監査の結果、監事兩名は学校法人山口学園の業務及び財産の状況に関しての不正行為または法令、若しくは寄付行為に違反する重大な事実は認められなかった。また、財務に関する計算書類は、学校法人会計基準に準拠し、且つ前年度会計と同一の基準に従って継続して適用されており、更に計算書類の表示方法も同様であると認められた。

因って、学校法人山口学園の令和5年3月31日現在の財務状況及び同日を以て終了する会計年度の経営状況を適正に表示されているものと認める。

学校法人山口学園と私との間には、私立学校法第38条第5項に定める外部監事であり、学校法人山口学園寄付行為第12条第2項並びに第3項の規定による特殊の利害関係はない。

資金収支計算書 [令和4年度] (単位=円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	76,656,300
手数料収入	165,000
寄付金収入	448,990
補助金収入	59,561,000
試算売却収入	0
付随事業・収益事業収入	20,451,374
受取利息・配当金収入	283,690
雑収入	2,439,206
借入金等収入	0
前受金収入	3,640,000
その他の収入	35,221,199
資金収入調整勘定	▲9,454,702
前年度繰越支払資金	53,702,776
収入の部合計	243,114,833

支出の部	
科目	金額
人件費支出	110,591,922
教育研究経費支出	7,670,927
管理経費支出	29,653,170
借入金等利息支出	704,614
借入金等返済支出	11,040,000
施設関係支出	0
資産運用支出	18,812,607
設備関係支出	906,300
その他の支出	23,940,945
資金支出調整勘定	▲1,517,383
次年度繰越支払資金	41,311,731
支出の部合計	243,114,833

事業活動収支計算書 [令和4年度] (単位=円)

教育活動 収支		
	科目	金額
事業活動収入	学生生徒等納付金	76,656,300
	手数料	165,000
	寄付金	448,990
	経常費等補助金	59,561,000
	付随事業収入	20,451,374
	雑収入	2,439,206
	教育活動収入計	159,721,870
	人件費	109,116,922
同上支出	教育研究経費	7,907,950
	管理経費	41,874,079
	教育活動支出計	158,898,951
	教育活動収支差額	822,919

教育活動外 収支		
	科目	金額
収入	受取利息・配当金	283,690
	教育活動外収入計	283,690
支出	借入金利息	704,614
	その他の教育活動外支出	845,877
	教育活動外支出計	1,550,491
	教育活動外収支差額	▲1,266,801

	経常収支差額	▲443,882
--	--------	----------

参考	事業活動収入	160,005,560
	事業活動支出	160,452,048

	特別収支 事業活動収入	0
	特別収支 事業活動支出	2,606
	特別収支差額	▲2,606
	予備費	-
	基本金組入前当年度収支差額	▲446,488
	基本金組入額合計	▲3,877,800
	当年度収支差額	▲4,324,288
	前年度繰越収支差額	▲233,006,624
	翌年度繰越収支差額	▲237,330,912

貸借対照表〔令和4年度〕(単位=円)

資産の部	前年度末	本年度末	増減
固定資産	632,974,055	620,625,860	▲12,348,195
流動資産	67,818,766	65,391,193	▲2,427,573
資産の部 合計	700,792,821	686,017,053	▲14,775,768

負債の部	前年度末	本年度末	増減
固定負債	96,871,000	84,356,000	▲12,515,000
流動負債	18,000,419	16,186,139	▲1,814,280
負債の部 合計	114,871,419	100,542,139	▲14,329,280

純資産の部	前年度末	本年度末	増減
基本金	818,928,026	822,805,826	3,877,800
繰越収支差額	▲233,006,624	▲237,330,912	▲4,324,288
純資産の部 合計	585,921,402	585,474,914	▲446,488
負債及び純資産の部合計	700,792,821	686,017,053	▲14,775,768

財産目録〔令和4年度〕(単位=円)

1. 資産総額	686,017,053	
固定資産	620,625,860	土地・建物・構築物・教育研究用機器備品・図書
流動資産	65,391,193	現金・預金
2. 負債総額	100,542,139	
固定負債	84,356,000	長期借入金・退職給与引当金
流動負債	16,186,139	短期借入金・未払金・前受金・預り金
3. 正味財産	585,474,914	

令和4年度・2022年度

学校法人山口学園の計算書類等、以上の通り公開します。

令和5年5月31日

学校法人山口学園

くずは青葉幼稚園

理事長 山口 尚志

